

## 『日本の装束 十二単』の着装ショーを開催

2022年7月31日(日) 於: みしまプラザホテル

コロナ禍で中止となった当初2月予定のショーがこのたび開催されました。

### A 文化の集い『日本の装束 十二単』



約千年前の女性が着た、平安時代のファッション、十二単(じゅうにひとえ)を間近に見られる機会がもうけられました。約1時間かけて、静かに静かに、一枚ずつ着物を重ねていく時間は、当時の任を受けた女性にとって、心を整える大切な時間だったんだろうと感じられます。重ねていた十枚の着物は、合計すると約20kgの重さがあるとか。すべて着付けした後に、スルッと抜け出すことができたのには驚きました。抜け出した後の十二単を空蟬(うつせみ)と言うそうです。

(在住外国人委員会・山本寿美子委員長)



空蟬と言われる  
セミの抜け殻のような形に  
なります





# 国際理解教室・出前講座開催

7月6日 佐野小

7月6日に、国際理解教育・出前講座を佐野小学校で行いました。今回は、4年生が対象で、中国・北京出身の李寧さんと、バングラデシュ出身のシャー・アラム・モハツモドさんが講師になって、それぞれ母国のお話しをしました。中国は、どんな朝食を食べているのか、数を示す指使いとかを教わりました。バングラデシュについては、一体どこにあるの？、どんな国なの？、気候は？、何語を話すの？、など知らないことばかりでしたが、普段着ているシャツなどがメードイン・バングラデシュだと知って、急に身近になりました。そして、公用語のベンガル語をひとつ覚えました。ドンノバード(ありがとう)。



李寧さん



シャーさん

7月11日 山田小

7月11日には、国際理解教育・出前講座を山田小学校で行いました。5年生2クラスが対象で、台湾出身の李璧如さんと、ペルー出身のアマザデハラ・ケイラさんが講師になって、それぞれ母国のお話しをしました。台湾は、台北のバイク事情や101ビルというのっぽビル、マンゴーやタピオカ、かき氷など食べ物のお話、台湾の小学校の様子など。ペルーについては、日本と季節が反対で今は冬。富士山より高い標高のところに住んでいて寒いので、アルパカのふわふわの毛皮の洋服を着ていること、ペルーの主食はジャガイモでその種類が1500もあること、などを教えてもらいました。最後は、謝謝(シェシェ)、Gracias(グラシアス)、ありがとうございました。とても楽しい授業でした。



李璧如さん



ケイラさん

日中国交正常化50周年 静岡県・浙江省友好提携40周年記念巡回展

## 中国・浙江省の暮らしと食文化

三島市と麗水市は、1997年5月12日に友好都市提携締結協定書調印式を行い、今年で提携25周年を迎えました。同じく、中国浙江省と友好都市提携40周年を迎えた静岡県と共同で記念巡回展が開催されました。浜松、静岡と巡回し、7月16日(土)、17日(日)に日清プラザ・イトーヨーカドー三島店にて行われました。会場には麗水市と浙江省の文化や魅力を伝えるパネルや、友好都市から贈られた記念品(写真左上)、漢服が展示されました。龍井茶の試飲やクイズ、日本大学国際関係学部中国語研究会によるワークショップでは来場者も参加して三島と麗水の風景を一枚にした“ちぎり絵”を作成しました。ステージパフォーマンスも行われ、

16日に高橋俊樹氏率いる『Toshiki 二胡学院』の皆さんによる二胡の演奏が行われ(写真右。国際交流室の李寧さんも特別参加！)、二胡の音色が会場を包み込みました。17日には『静岡県中国武術協会 自強武術館』の子供たちが圧巻の武術パフォーマンスを魅せてくれました(写真中)。両日とも多数の方々が来場し、浙江省、そして麗水市の魅力を感じてくれたのではないかと思います。同じく、中国・麗水市に於いても25周年イベントと展示が行われたそうです(写真左下)。コロナ禍で国際交流がままならない状況ですが、今回のイベントを行うことで、改めて麗水市との絆を感じることができました。







# 美しい国 ウクライナ展 開催

～ 平和を取り戻そう！～



青と黄色のウクライナの国旗。青い空の下に、見渡す限り広がるヒマワリや小麦畑が表現されているそうです。ロシアによる軍事侵攻を受けて、ウクライナ東部のドニプロから三島市に、ネジェリカ・マリナさんの一家4人が避難してきました。14年前にお嫁に来た娘の原アンナさんが暮らす多呂で避難生活をされています。

この度、一般社団法人インターナショナルハウスふじやまの主催、MIRAの後援のもと、7月3日～10日に、みしまプラザホテルにおいて「美しい国 ウクライナ展」が開催され、ウクライナの美しい景色や歴史的建造物の写真を飾り、アンナさんやマリナさんのアート作品や手作りのジュエリーが展示販売されて、支援に充てられました。初日にはオープニングトークイベントとして、マリナさんによる「美しい国ウクライナに平和を！」と題した講演も実施され、約80名が参加して、ウクライナで今何が起きているのか、切実なお話を伺うことができました。ウクライナの



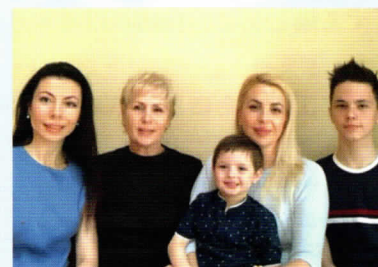
原アンナさん作品

美しさ、豊かさ、素晴らしさと、それが突然奪われてしまった悲しさと口惜しさ、すぐにでも復興させたいというマリナさん達の強い思いが、ひしひしと伝わってきました。

ウクライナ展は1週間で延べ180名の参加があり、毎日マリナさんとアンナさんを訪ねて会場に足を運ぶ人が途絶えず、大変盛況でした。

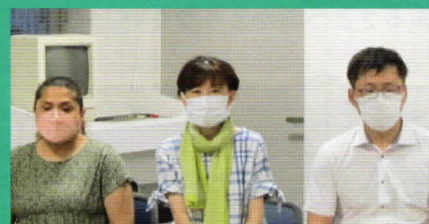
きっかけは国際紛争ですが、人と人のご縁がつながり、地域と地域、国と国との理解が深まる機会となりました。

三島市在住の原アンナさん（左端）と、避難されてきた母親のマリナさん、アンナさんの妹のジュリアさんとその二人の息子さん（14歳と3歳）



## 入門・夏期語学講座 開催

毎年開催されている入門・夏期語学講座ですが、今年は中国語（李寧先生）、韓国語（申昌紘先生）、スペイン語（天原ケイラ先生）の3カ国語が開催されました。7月8日に開講式が三島市民生涯学習センターにて行われ全12回のクラスがスタートしました。各クラスの受講生のみなさんは猛暑にも負けず、またコロナ対策も十分に、熱心に勉強していました。



左から ケイラ先生、李先生、申先生

第19回

## フラワーアレンジメント講座開催 2022年6月25日(土) 生涯学習センター

国際交流協会人気のフラワーアレンジメント講座が、6月25日、生涯学習センターにて開催されました。19



回目となる今回は8カ国19名の方が参加、うち外国籍の方のほうが多く12名。まさに国際色豊かな講座となりました。

テーマは「七夕」。アレンジメントの前に、参加者がそれぞれの願いを込めて短冊を笹に飾り付けました。家族の健康や幸せ、世界の平和など、中には宝くじに当たりますようにというのもありましたが、気持ちはきっと届くでしょう。お花は、クルクマ、百合、アストラランシアなどに、タマシダや栗などが引き立て役となって、鬱陶しい梅雨空を吹き飛ばすように清楚な趣のアレンジメントができあがりました。



# James Molloy - MIRA Newsletter #32

## JIMのみしまものがたり③②

### ふるさと

ほんの少しの間、私と一緒に「ふるさと」を旅しませんか？

ふるさとと聞くと、何を思い浮かべますか？

目を閉じて考えたいのなら、答えが出るまで待っています。



さあ、何が頭に浮かんだでしょう。

セミの鳴き声を聞きながら、溶けそうになる前に急いでアイスクャンディーを食べた子どもの頃の夏休み？

それとも、夕ご飯のみそ汁から上る湯気の向こうに映る大好きなテレビ番組を見ていた時間？

私にとってはただの「場所」のことではなく、居心地の良い場所にある景色、音、匂いのすべてが合わさったものが「ふるさと」です。

先日ニューファンドランドに住む兄弟とメッセージをやり取りしていた時、彼が実家で撮影した動画を送ってくれました。その動画を見た瞬間、海辺の風に乗って、クロトウヒやバルサムモミの香りを感じたのです。夏と言えば、北米で最も古いスポーツイベントであるロイヤル・セントジョンズ・レガッタを観戦するときの興奮までもが画面から伝わってくるよう。このレガッタは、ボートレースや数々の出し物、そして街全体が交流する場として、1816年以来8月の第1水曜日の夜に開催されてきた盛大なフェスティバルなのです。

さて、あなたにとってふるさとを定義するものとは？ 私が思い浮かべるのは・・・

漂う蒲焼の甘く香ばしい匂い。足元をさらさらと流れる小川のせせらぎ。

まるで私たちを見守ってくれるかのようにそびえたつ箱根山、愛鷹山、沼津アルプス、伊豆の山々。

そして今年3年ぶりに開催される三嶋大祭りのために、シャギリと農兵節の集団が練習している太鼓、笛、鉦の音が街に響いています。

今、再び我が家に戻ってきたような気分です。地球にたったひとつの場所。

ふるさとへおかえりなさい。

### 三島市・パサディナ市姉妹都市提携65周年特別企画

パサディナのブライアン・タケダさんほか制作のドキュメンタリー

お知らせ

## 上映会「日系アメリカ人の歴史を知る」開催

■日時：11月13日(日) 10:00～

■場所：三島市民生涯学習センター3F講義室

■募集定員：100名

■対象：MIRA会員および市内在住・在学の人

■募集期間：10月28日(金)必着

■申込み方法：(応募多数の場合、会員優先の抽選)

1. ハガキに ①氏名 ②電話番号 ③メールアドレス ④会員・非会員の別を記入し協会へ

2. オンライン回答フォーム(右のQRコード)から

※締め切り後、申込結果をメールでお知らせいたします。



### 麦畑 (編集後記)

★Home is where you hang your hat. (J)

★暦の上では秋でも、まだまだ暑くてバテバテです(明)

★ウイルスとの根比べ。対策万全で、負けないぞ！(S)

★猛暑&コロナ禍で試行錯誤のMIRA活動(桜)

★ウクライナから三島へ避難、隣国紛争、明日は我が身(K)

### 申込み・問合せ

★三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局

TEL 976-1020 FAX 976-1021

★三島市国際交流室

TEL 983-2645

三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ